

住宅リフォーム補助制度を4月より実施!

…補正予算に盛り込むと3月議会の議案説明で発表…

住宅リフォーム促進補助制度の概要

1. 目的

住宅を、市内の業者を利用してリフォーム工事を行う場合、その経費の一部を助成することにより、住環境の向上と地域経済の活性化を図ることができる。

2. 対象工事

- * 住宅の修繕。
- * 外壁塗装など住宅の模様替え。
- * その他市長が認めるもの。

3. 補助金額

- * 補助対象工事費の20%
- * 限度額20万円

4. 実施時期

- * 4月1日からH24年2月29日まで

5. 事業費

- * 2000万円



担当課
市役所 産業振興課

2月25日に開会する江南市議会3月定例会に提出する議案の事前説明会が15日にあり、当局より補正予算について説明がありました。その中で住宅リフォーム補助制度を4月1日から実施する予定であることが明らかにになりました。その主な内容は別表のとおりです。日本共産党議員団は、地元業者の仕事おこしに即効性があり、経済波及効果もすでに他の自治体で立証済みであることから、リフォーム助成制度の実施を要求してきました。



制度の内容を説明し協力を要請、会頭なども「これは良い制度だ。ぜひ実施してほしい」と共感の声が寄せられました。12月議会で、日本共産党議員団は、この制度を実施するための財源として、国の新たな交付金を活用できることを明らかにし、地元業者のために早急に実施するよう求めました。江政クラブの議員からも、この制度の有効性を評価し、早期に実施するようにと提案があり、市長は「前向きに検討する」と約束していました。3月議会では、より利用しやすい制度となるよう提言していきま

木造住宅耐震補強工事助成も好評で追加予算を検討

従来行われてきた耐震補強工事に60万円の補助がありました。国の緊急経済対策の一環として新たに30万円が上積みされることになり、上限90万円の助成が受けられるようになりました。2月の市広報を見た市民から申し込みが殺到し、20棟の目標に対し、37件の応募があり、新たに30棟分を追加して補正予算を組み対応することになりました。この事業の対象者は、昭和56年以前に建設された木造住宅で、市の「木造住宅無料耐震診断」を受けた結果、評点が1.0未満の家です。3月25日までに市役所土木建築課へ申請し、工事は23年度中に完了すること。

住宅ローンが月々8000円も安くなりました

赤旗日曜版に書いてあるとおりでした。



赤旗日曜版2月13日号の1面と6面に住宅ローンの金利が下がった例が紹介されています。江南市でも読者の娘さんが、住宅ローンを組んでいる金融機関に「金利を下げてください」と申し込んだところ2.2%の金利が0.7%下がって1.5%になり、月々の返済が8000円も下がったと大喜び。早速同じ住宅の友達にも教えてあげて交渉し、同じように金利が下がって感謝されているとのこと。これは「中小企業金融円滑化法」により、住宅ローンの借り手が金利負担軽減などの貸し付け条件変更を求めた場合、金融機関は可能な限り対応するという努力義務を課していることによるものです。同法第5条) この法律は今年3月までの時限立法でしたが、1年間延長されました。まずは銀行に電話をかけてみましょう。自信のない方はご相談ください。

